



## 令和3年度 阿南市こどもフェスティバル 中止のお知らせ

例年秋ごろに開催していました阿南市こどもフェスティバルにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大が続いている現状に鑑み、開催を中止することとしました。

問い合わせ こどもフェスティバル実行委員会事務局  
(生涯学習課内) ☎22-3391

## 平和を祈り1分間の黙とうを

昭和20年、広島と長崎に原爆が投下され、日本は唯一の被爆国となり終戦を迎えました。

犠牲者のご冥福をお祈りし、核も戦争もない平和な世界を願い、家庭や職場および地域で1分間の黙とうをささげましょう。

広島 8月6日(金) 8:15  
長崎 8月9日(振休) 11:02  
終戦 8月15日(日) 12:00

問い合わせ 企画政策課 ☎22-3429

## あなん 文化紀行

第7回

### 私たちの歌

阿南合唱団指揮者

吉見 隆史さん

「みどり色濃き 津の峰の…」  
合唱団で施設を訪問させていた  
だく時、そして演奏会の時、「ここ  
ぞ」というところで歌うのが「阿  
南市民の歌」です。

阿南市の名山「津乃峰山」を歌  
い出しとするこの歌は、1966  
年、阿南市を愛する橘町の円乗寧  
代氏によって作詞されました。3  
番まで読み上げると、那賀川や橘  
湾の真珠産業等、私たちの市の息  
づかいが聞こえてくるようです。

この見事な歌詞を歌に織り込ん  
でいかれたのが、音楽の世界を深  
く知る長生町の富永照美氏。歌全  
体がとても滑らかで優しく、同時  
に力強さも感じられます。「弱起」  
という技法を使い、柔らかな出だ  
しで、私たちが歌の世界に誘うと、  
「津乃峰の」のリズム「ターンタ  
タンタン ターン」の四分音符の  
連続(傍線部)が出現。どっしり  
とした落ち着き、重厚感を感じま

す。この柔らかさと重厚感が曲全  
体の要素所にバランスよく散り  
ばめられ、私たちの心に印象深く  
残る歌になっているのです。

「希望の朝を野に立てば」

未来に開かれた光明を感じ、し  
っとりとした表現からは、まさに  
この歌詞ならではの雄大さと生命  
感を感じます。さらに、この部分  
を歌っていると、爽やかでなぜか  
新鮮な気持ちになります。それは、  
音楽の構成に秘密があります。本  
来ニ長調という調子で書かれてい  
るこの歌に、なんとイ長調という  
別の調子に使われる音をそつと入  
れてあるのです。思いもよらない  
他の調子の世界からやってきた、  
「#ソ」というこの音。ここに醸し  
出される雰囲気と歌詞の爽やかさ  
が織り重なり、独特の新鮮さが生  
まれます。

「あゝ、わ  
れよくぞ生ま  
れたり」

感嘆詞か

ら始まるこの  
一節に、私た  
ちの市を支  
えてきてくだ  
さったご先  
祖さま、未来

の人々、そして、今を生きる私た  
ちを思います。

最後は、「うるわしき」と徐々に  
盛り上がってくるメロディが、「阿  
南の郷に」と続き、余分な音を使  
わず毅然とした姿を示す表現で、  
力強く締めくくられています。

この歌が、2番、3番とつな  
がり、私たちの阿南市を高らかに歌  
い上げていくのです。

また、真鍋順紀氏の編曲による  
混声四部合唱では、女声と男声と  
で主旋律を歌う部分が見事に振り  
分けられており、この地に集う全  
ての市民が、力を合わせて未来を  
切り開いていこうとする意思を感  
じます。

「阿南市民の歌」は、ケーブルテ  
レビで、朝昼夕に流れています。  
懐かしい阿南の風景や今に活躍す  
る人々、未来を創る子どもたち、  
生まれ出た命等々、たくさんの映  
像に合わせ、市内の合唱団が力を  
合わせて歌い上げた演奏が聴かれ  
ます。

「この素晴らしい歌が、世代を超  
えて受け継がれて行かんことを」  
と、切に願います。

あなん文化紀行は偶数月号に掲載します。



阿南市民の歌